

社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金事業の実施について

事業の目的

当事業は、就職氷河期世代を含む中高年層をはじめとする幅広い世代や属性の者の孤独・孤立状態の予防や脱却に向け、社会参加や就労支援等を必要とする者や孤独・孤立状態にある者等を対象に、個々人の状況に合わせた、一貫型・伴走型の支援をするとともに、県内企業の人手不足を解消することなどを目的として実施するものである。

事業内容

・埼玉県版就職氷河期世代等の就職・職場定着支援事業

埼玉しごとセンターにおいて、「おおむね就職氷河期世代」となるミドル世代を中心に若者・シニア世代の一部にまで対象世代の幅を広げて、就労や処遇改善等を希望する方を対象とした就職のための相談、セミナー（リ・スキリング）から個々人が希望する就職を実現した後の職場への定着のための相談、セミナーまでを個々人の状況・ニーズに合わせ、切れ目なく効果的に行う。

また、企業を対象に、採用前に当世代を受け入れるために必要な知識等を習得するセミナーを実施して求人を拡大してもらうとともに、早期離職の防止・職場への定着を支援するためのセミナーを実施する。

→K P I ①、②、③

・若者等自立支援事業

若者自立支援センター埼玉において、利用者である 15～49 歳の職業的自立を目指す若者への相談・セミナー・有償型就業体験や、家族相談等の伴走型支援を実施する。また、対面支援のほか、メタバースでの相談・セミナー・交流会等の支援メニューの提供や、市町村との共催による出張セミナー・個別相談会など、アウトリーチ支援を実施する。

さらに、これらの支援が利用者において効果的なものとなるよう、国の若者サポートステーションをはじめとする関係機関や民間団体と連携を図り、支援メニューの相互利用を促進する。

→K P I ④、⑤、⑥

重要業績評価指標（K P I）

（１）K P I の設定

K P I ① キャリアコンサルティング数

K P I ② 就職確認者数

K P I ③ 就職確認者数のうち正規雇用者数

K P I ④ 新規利用登録者数

K P I ⑤ 就職等移行者数

K P I ⑥ 有償型就業体験事業利用者のうち就職確認者数

(2) K P I の計画目標及び実績

		目標	実績	達成率
埼玉県版就職氷河期世代等の就職・職場定着支援事業 (埼玉しごとセンター)	K P I ①	2, 7 0 0	2, 8 4 9	1 0 5. 5 %
	K P I ②	1, 1 2 0	1, 1 9 2	1 0 6. 4 %
	K P I ③	3 6 0	4 4 0	1 2 2. 2 %
若者等自立支援事業 (若者自立支援センター埼玉)	K P I ④	2 5 5	4 7 8	1 8 7. 5 %
	K P I ⑤	4 0 0	8 1 2	2 0 3. 0 %
	K P I ⑥	1 0 0	6 7	6 7. 0 %

(3) K P I の計画目標の達成及び未達成の理由(令和7年度)

K P I ①

- ・ 事業説明等の周知・広報を強化した結果、支援対象者を増やすことができた。

K P I ②

- ・ キャリアコンサルティング数の増加に加え、就職支援セミナーの内容のブラッシュアップ等により多くの支援対象者に就職支援を行うことができた。また、ハローワーク等の関連機関と緊密に連携しながら就職支援を行った。

K P I ③

- ・ キャリアコンサルティングにおいて、個々の状況、ニーズに応じた丁寧な支援を行ったほか、適切なタイミングで関連機関への誘導、職場定着に資するセミナーの受講勧奨など、職場定着までの切れ目のない効果的な就職支援を実施した。

K P I ④

- ・ 有償型就業体験事業の対象年齢を拡大したほか、関係機関の支援員等に周知広報を積極的におこなった結果、リファーマを受けることが増え、利用登録者数の増加につながった。

K P I ⑤

- ・ 就労移行支援事業所等の関係機関と連携したセミナーやしごと体験を開催することで、利用者の自己理解や就労に向けたモチベーションが向上し、就職活動の継続や職業訓練の受講につながった。

K P I ⑥

- ・ 有償型就業体験の対象年齢を拡大した結果、体験利用者を増やすことができた。しかしながら中高年世代、障害やひきこもり傾向など複雑な問題を抱えた利用者については、自己理解・職業理解に時間を要し、直ちに就職には結びつかなかった。

(4) 効果検証(令和7年度)

令和8年7月29日(水)に開催された埼玉中高年世代活躍応援プロジェクト協議会にて、協議会構成員の方々による達成状況の検証及び審議をいただいた。